

講義名	19 - 基礎知識(地理) / 15 - 基礎知識(地理)			授業形態	
担当教員	秦 洋二	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本講義では、地理学に関する基礎知識を習得し、現代社会を地理学の視点から分析する力を養うことを目的としています。細かい地名や地域の特産品を覚えることは、この講義が目指すところに対してさほど重要な意味を持ちません(全く無駄とまでは言いませんが)。
 地理学は、我々の生活に影響を及ぼしている時間・空間的諸関係を解明し、人間社会をよりよく理解するための方法の一つです。身の回りのことはもちろん、世界中で起きている、自分の目では直接見ることができない事象も広く講義で取り上げます。講義に登場する様々な題材をもとに、地理学的なものの見方を学んでください。

到達目標

- ・現代社会の基礎的な知識をもとに、地理学的思考を行うことができる
- ・社会現象を地理学的視点から見ることができる。

提出課題

中間レポート(または中間試験) 50%
 期末レポート(または期末試験) 50%

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

授業中に解説を行う。

評価の基準

中間レポート(もしくは中間試験): 50%、期末レポート(もしくは期末試験): 50%
 諸般の事情により、当初の予定を変更する場合は適宜指示します。

履修にあたっての注意・助言他

配付資料を中心に講義を進めます。日頃から積極的に新聞などに目を通しておくことを推奨します。

教科書

.使用しません。

参考図書

その他

資料がある場合は講義連絡にて指示します。

授業計画

- 1 ガイダンス
- 2 地図の世界
- 3 国家と国際問題
- 4 世界の民族と民族問題
- 5 人口転換と人口問題
- 6 商業立地
- 7 商業立地
- 8 農業立地・工業立地
- 9 商業の変化
- 10 観光の地理
- 11 環境問題を考える
- 12 兵庫県の話
- 13 フードデザート問題
- 14 交通の地理
- 15 まとめ

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習: 日頃からニュースや新聞に目を通し、講義テーマに関連する予備知識を得ること(2時間程度)
 復習: 講義資料を復習すること。その際、講義で取り上げた地域・場所について地図帳などで位置を確認することが望ましい(2時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、特に本学ディプロマポリシーにある「論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において講義を構成しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義は原則対面で行いますが、状況に応じてオンライン講義も開講します。
 質問は随時メールでも受け付けますので、遠慮無くお尋ねください。

実務経験の有無及び活用

備考

諸般の事情により内容の一部を変更することがあります。その場合は講義連絡等で指示します。